

あ と が き

北海道立衛生研究所報第 75 集をここにご報告致します。

新型コロナウイルスによる感染症危機が収束してきた中で、改めて現代の世界情勢を見ますと、紛争、気候変動、食糧問題、化学物質等による水や土壌の汚染など多く健康危機に晒されていることを痛感致します。日本も例外ではなく、健康危機は私たちの生活や環境の中に多く見られます。そのような情勢の中で、公衆衛生の強化は単なる対策ではなく、社会の安定を守る基盤であり、それらと対峙するために科学・技術も大きく発展して参りました。当研究所は、感染症対策をはじめ、食品・飲料水・医薬品の安全性評価、生活環境に関連する諸問題など幅広い分野で対応し、道民の保健及び衛生の向上を目的に、日々、研究・業務に取り組んでおります。

本所報は、令和 6 年度の研究活動を中心に、9 報の研究成果をご報告しました。農薬、花粉、放射能、温泉水、自然毒、有機化合物、感染症流行状況・予測など、地域における科学的かつ技術的中核であることが求められる当所の研究活動の成果をまとめたものです。また、本号より電子媒体での発行とさせていただきました。より多くの方々のお役に立てることを願っております。今後も、道民の健康危機に対して迅速で正確な責任ある対応を遂行するためにも、職員一同、弛むことなく研究・業務を継続して参りたいと存じます。本報告を含め、引き続き忌憚のないご意見とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本所報の発行にあたりご協力を賜りました関係各位、ならびに査読・校正にご尽力いただいた職員の皆様、事務局の方々に深く感謝申し上げます。あわせて、日々真摯に研究・業務に邁進されている研究職員の皆様に、心より敬意を表します。

(藤谷記)

所 報 編 集 委 員

委員長	藤 谷 好 弘				
委 員	上 野 健 一	西 村 一 彦	森 本 洋		
	山 野 公 明	鈴 木 智 宏			
校正委員	佐 藤 正 幸	橋 本 諭	後 藤 明 子		
	市 橋 大 山				
事 務 局	鈴 木 智 宏	柳 瀬 忍			